

平成30年12月議会 一般質問 成川

1. 都市公園の活性化について

(問) 本市における「都市公園」の現状と課題。魅力ある公園へ

(答) 管理は、指定管理者 18 公園、地元振興会 5 公園、町内会等 10 公園の全体で 33 公園。多くが整備から 30 数年が経過しており、遊具等の老朽化が進んでいる。

また、利用者の多様化するニーズへの対応が課題で、県内外の特徴ある手法を参考にしながら、魅力ある公園にするため関係団体等と協議していく。

(問) 本市でも「パークマネジメント」を導入できないか伺う

(答) 今後も草刈りや清掃など地域住民の参加した管理を依頼するが、運営に関しては話し合う場が現在無い。導入については現時点での考えはない。

まさゆきの視点

利用する人がいてこそ、公園の価値がある。見えている課題があるのであれば、解決に向けて取り組むべきだと考えます。みんなが遊びに行きたくなる公園にして「黒部って面白いね!」、そう言われるようにしたいです。全国には成功事例があります。黒部市で出来ない訳がないと思っています。

2. 子どもたちの外遊びについて

(問) 「今の子どもたちの遊びの現状」について

(答) 子どもたちが外で遊ばなくなっている。子どもには、外で元気に遊び、その姿を見せ、声を聞かせてほしいと願うものであり、それが、子どもの健全育成という視点からも大切なことと考えている。

(問) 本市に「冒険遊び場」いわゆる「プレーパーク」を整備してはどうか伺う。

(答) 既存の公園施設でも子どもたちが自分で考えた、自由に冒険心あふれるいろいろな体験ができるのではないかと考える。

(問) 外遊び指導員の養成について

(答) 児童クラブ指導者協議会等の関係団体と協力していきたい。

(問) 次期の「黒部子ども・子育て支援事業計画」に外遊びの重要性を盛り込めないかどうか伺う。

(答) 次期計画には、施策の方向性に外遊びの視点を加え、子どもたちがいきいきと外で遊ぶ機会が増えるように検討、推進する。

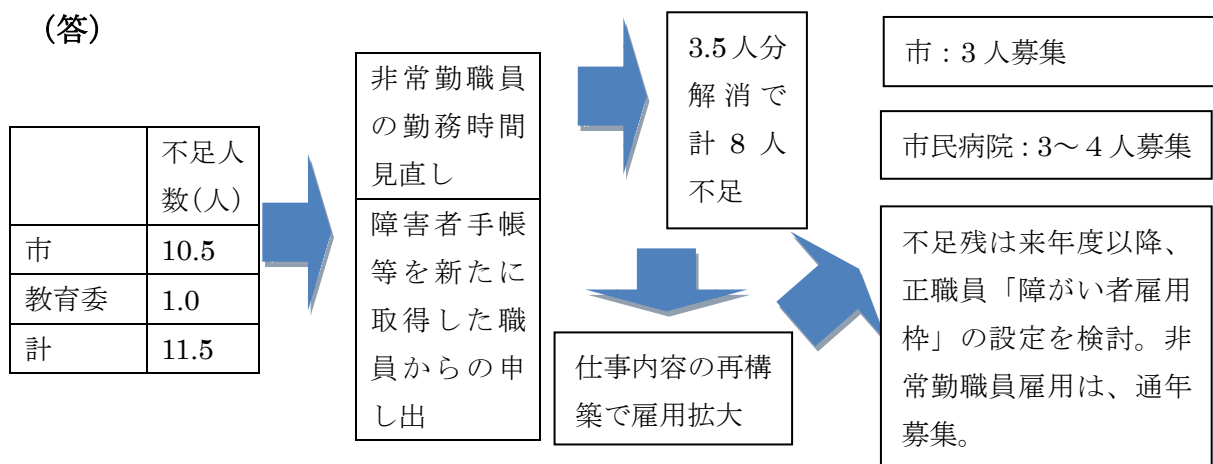
まさゆきの視点

今の子どもたちが大人になった時、黒部の思い出は何になるのでしょうか。思い出の中に黒部の自然は残るのでしょうか。子どもの元気な声が聞こえるまちにしたいと思っています。

3. 障害者就労について

(問) 市の障がい者雇用の現状と今後の対応について

(答)



(問) 企業と障がい者とのマッチング強化、サポートについて

(答) 今後とも、関係機関等との連携を密にし、一般企業等への障がい者雇用に対する理解促進を図っていく。そして、就労を望むすべての障がい者が、一人ひとりにあった就労の場で働くことができるよう支援する。

まさゆきの視点

外国人労働者雇用がクローズアップされていますが、それは働きたい日本人をしっかりフォローした上での議論だと思っています。官民一体となって、人材を活かす取り組みをして欲しいと思っています。